戒光寺大修理趣意書

真言宗泉涌寺派準別格本山戒光寺は、鎌倉時代の安貞2年（１２２８）、後堀河天皇の御勅願所として猪熊八条に創建されました。

応仁の乱のような市内を焼き尽くす大火をも免れ、その歴史は約８００年に及びます。その後、後水尾天皇の御発願により、後光明天皇の御世に当地に移転され、御堂は約３５０年の星霜を重ねます。３代の天皇さまの御縁に与かる由緒ある寺院であります。

御本尊は、世界一の「木彫寄木造り極彩色の釈迦如来立像」であり、経典に説かれる釈迦の身の丈「一丈六尺」の等身大のお像として、また首元から流れる血潮の痕は「後水尾天皇のお身代わりのお釈迦様」として広く信仰されています。

京の八釈迦に数えられ、京の大仏・丈六さんとも呼ばれて古来より信仰されており、京都市内には当時ゆかりの地名を残しています。

本堂安置の釈迦如来立像（重要文化財）・開山曇照忍律坐像（重要文化財）・不動明王像（未指定）は、全て鎌倉時代に製作され、約３５０年前に建立された重層入母屋造りの建築物ともども国の宝であります。これら宝物を預かる本堂の屋根（本殿大屋根）瓦葺き替えを計画しております。

古来より、寺院修復に功績のあった者は、死後は必ず御本尊自ら浄土へ導き、現世では幸福を授けていただけると言います。

この機会にどうぞ善行を積み、現世・来世の幸福をご感得ください。合掌

この機会に
京の大仏、丈六釈尊と
ぜひ仏縁をお結びください。

戒光寺大修理寄付金募金要項

１口　10,000 円より

大口ご寄進の方には記念品を授与致します。

- ５口以上ご寄進いただいた方には、特別記念品（菊花紋入抹茶椀）を授与致します。
- 10口以上ご寄進いただいた方には、特別記念品（菊花紋入花立）を授与致します。

ご寄進方法

1. 下記口座にお振込みをお願い致します。
2. 直接戒光寺にお越し下さい。

銀行振込：ゆうちょ銀行　四四八支店　普通預金 4376351
戒光寺開創800年記念事業実行委員会

郵便振替：00970-7-333636
戒光寺開創800年記念事業実行委員会

戒光寺へのアクセス

【JR・京阪電車】東福寺駅（奈良線）から徒歩10分
【市バス】京都駅（烏丸口）から、市バス（208）にて泉涌寺道下車、徒歩7分

戒光寺開創800年記念事業実行委員会

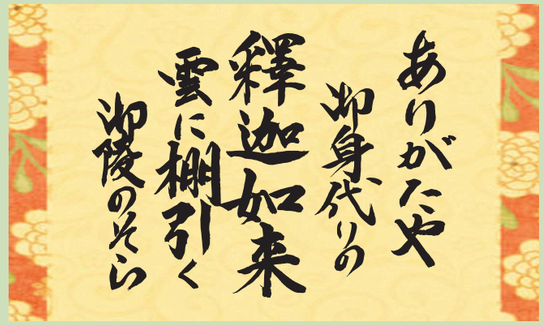
◆真言宗・準別格本山
丈六 戒光寺
〒605-0977　京都市東山区泉涌寺山内町29
TEL（075）561-5209　FAX（075）561-5234
http://www.kaikouji.com/

京の大仏 泉涌寺 塔頭

戒光寺大修理
趣意書

【戒光寺は2028年に開創800年を迎えます】

戒光寺開創800年記念事業実行委員会



これは、戒光寺の御詠歌（ごえいか）です。

御詠歌とは、いわゆる讃美歌（さんびか）に相当するもので短歌（五・七・五・七・七）の形式をしています。

後水尾天皇（ごみずのおてんのう）の御身代（おんみが）わりのお釈迦様のありがたさと、御陵（みささぎ）が多く集まる当地の大空に、雲が棚引（たなび）く様を爽やかに雄大に詠んでいます。

この地の風景と同じくご本尊のご利益が広大無辺（こうだいむへん）で、我々衆生を厄災より身代わりとなり救って下さることを謳っています。

戒光寺は開創より間もなく800年を迎えます。応仁の乱をはじめ多くの戦禍・大火を逃れ伝わるご本尊等も、当地に移転されてより約350年経つ一層裳階付入母屋造りの本堂も、過去多くの方々の御浄賽により維持されてきた日本唯一の貴重な文化遺産です。

このたび、平成の大修理として皆様方に本堂修復のご喜捨を賜りたく、お願いさせて頂く運びとなりました。

貴重な文化遺産である丈六釈迦如来立像を収める本堂修復に、多くの皆様方のご芳志をよろしくお願い致します。

真言宗泉涌寺派 準別格本山　丈六　戒光寺　住職　渡邊恭章

戒光寺縁起

皇室の菩提寺である真言宗泉涌寺派総本山御寺泉涌寺の塔頭で、総門をくぐると左側にある初めての寺院である。

当山の開創は鎌倉時代、後堀河天皇（在位1221年～1232年）の安貞2年（1228）、帝の勅命によって八条大宮の東と、堀川の間に建立され、後堀河天皇の勅願所として皇室、庶民の尊崇を集めた。

しかしながら、239年後の応仁元年（1467）に勃発した応仁の乱により堂舎はことごとく灰塵に帰したが、本尊釈迦如来立像と開山曇照忍律上人座像は兵火を逃れ一条戻り橋の元誓願寺辺りに移転、更に三条河原町に移転された。現在地に移転されたのは、正保２年（1645）後水尾天皇の発願により後光明天皇の時代に移転されたのである。

尚、八条大宮の東と一条戻り橋の東には現在も戒光寺町の名前が残り、昔を偲ぶことができる。

本尊の釈迦如来立像（重要文化財）

宋風をおびた極彩色の寄せ木造りで、鎌倉時代の仏師「運慶・湛慶」父子の合作と伝えられ、身の丈一丈八尺（約 5.4 メートル）、総丈三丈三尺（約 10 メートル）に及ぶ世に比類の無い大仏であり、重要文化財に指定されている。世に「御身代わりの丈六さん」と呼ばれているが、古来より大きな仏様を丈六仏と呼んだそうである。

寺伝によると、後水尾天皇が東宮（皇太子）の時に御即位争いが起こり、危うく一命を落とされようとした時に、釈迦如来が御身代わりに立たれたそうである。その証が像の首元にある刀傷と血の跡である。後水尾天皇はこれを大変尊び「万歳の後までも崇め奉らん」と、皇室ゆかりの泉涌寺の地に移されたのである。

これ以降、特に首上一切の病気平癒と御身代わりの仏様として信仰され、御祈祷を願われる方も多く現在に至っている。

御陵衛士の墓所（元新撰組隊士）

戒光寺墓所には幕末の勤王方元新撰組志士 伊東甲子太郎・藤堂平助・服部三郎兵衛・毛内監物ら悲運の高台寺党の墓地があります。

開山淨業律師（1187～1259）（重要文化財）

曇照忍律上人と呼ばれ、二十八才で入宋求法。鉄扇守一師より戒律を学び奥義を極められ、宋の理宗皇帝より忍律の称号を受け帰朝、後堀河天皇より曇照の勅号を賜り、戒律復興に努められた大徳である。

２度目の入宋の後仁治2年（1241）東林寺を建立、現在は廃寺となっているが、泉涌寺門前の南側に東林町という町名のみが残っている。

尊像は律僧特有の袖の大きな衣を着け、合掌して座す柔和な表情をした像であり、晩年の端座合掌して入滅した姿を彫刻したものと伝えられる。

泉山融通弁財天（秘仏）

境内に祀られている「弁財天」は、泉山融通弁財天と呼ばれ、伝教大師・最澄御作と伝えられる木造極彩色の八臂座像で秘仏である。世のあらゆる願い事を成就させる尊天として融通さんと呼ばれ、古来よりお百度参りをし、所願成就を祈願する信者が後を絶たない。

特に１月の成人の日に行われる七福神巡り、11月3日の弁財天大祭には、特別御開帳があり参詣者で賑わう。

その他の寺宝

不動明王像（鎌倉時代）

弘法大師像

理源大師聖宝坐像

戒光寺本堂改修工事について

名　　称　　戒光寺大修理　第２期工事
（本殿屋根修復工事・土地改良工事・庫裏修復工事）

費　　用　　総事業費１億３千万円（見込）
屋根修復工事　　１億円
土地改良工事　　２千万円
庫裏修復工事　　１千万円

改修工事予定箇所の一部　現状

本堂全景

東南隅　鬼瓦

瓦止め針金欠損

北側　懸魚飾り部分脱落

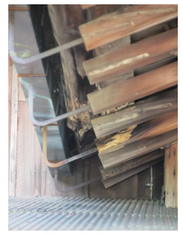
北側　瓦欠落・ずれ

本堂裏　大棟　瓦抜け

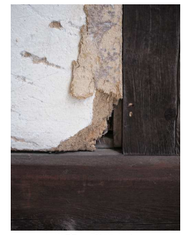
本堂裏　本葺　丸瓦浮き

北側　瓦落ち

本堂裏　軒先瓦

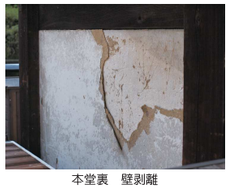


客殿との接合部　腐り



本堂裏　壁穴あき

北側隅　壁崩れ



本堂裏　壁剥離

本堂裏　壁穴あき

入母屋部分　土流れ